

# 試験研究炉の原子力災害における 「鉾田市屋内退避及び避難誘導計画」(案)の 概要について



# 1. 計画の策定について

## 計画の目的

原子力災害の発生，又は発生するおそれがある場合に，市民の皆様に対する放射線の影響を最小限に抑えるため、策定するもの。

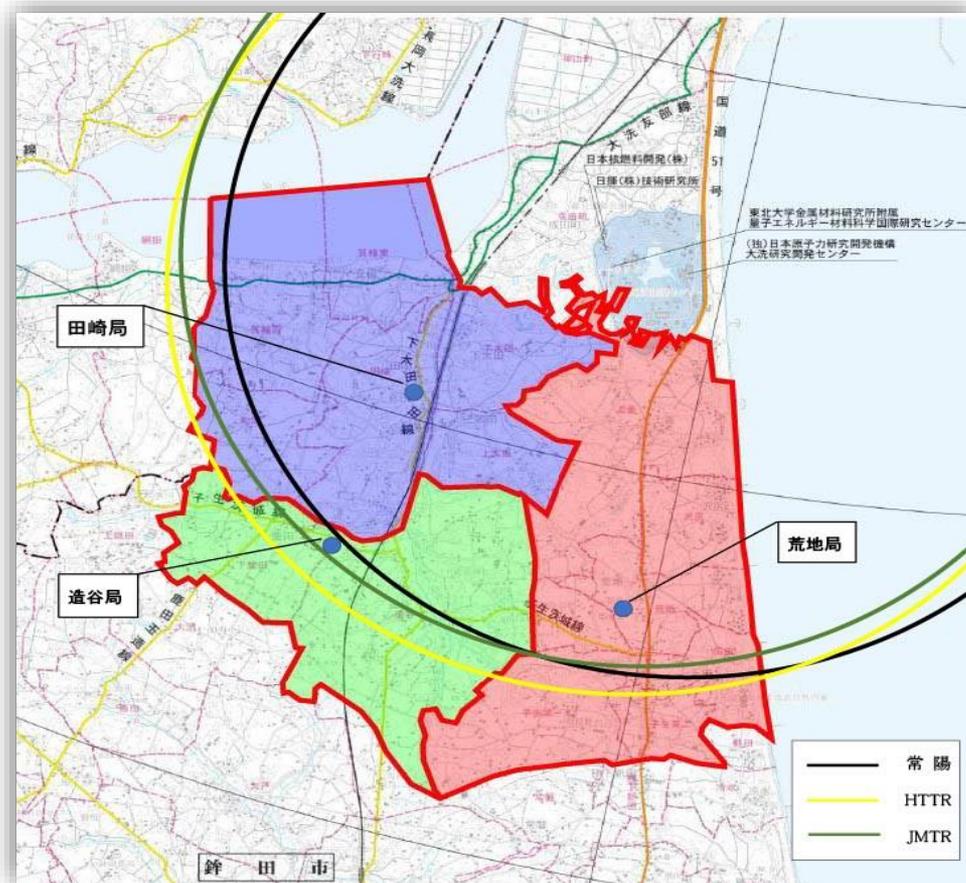
## 計画の範囲

原子力施設から概ね5kmの範囲

## UPZの範囲

旭北小学区の全ての地区、旭東小学区及び旭西小学区の一部

対象人口：約7千名



## 2. 放射線の基礎\_\_放射線とは

放射線と放射性物質の違い:たき火にととえると

熱線・光線にさらされる



熱量が大きければ火傷する

≡

放射線にさらされる



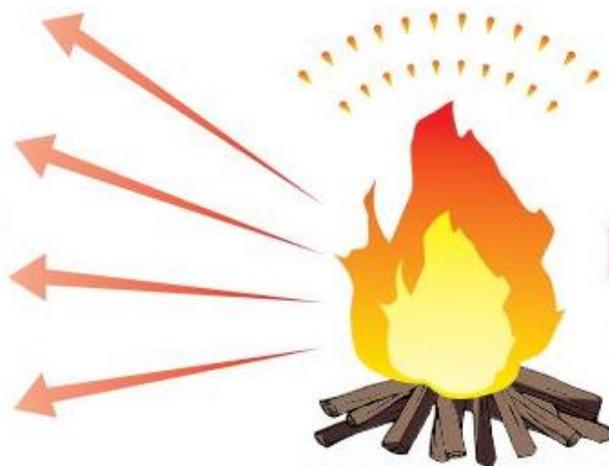
線量が大きければ健康に影響する

火の粉≡放射性物質 ⇒ 汚染 ⇒ 被ばく



熱線・光線

放射線

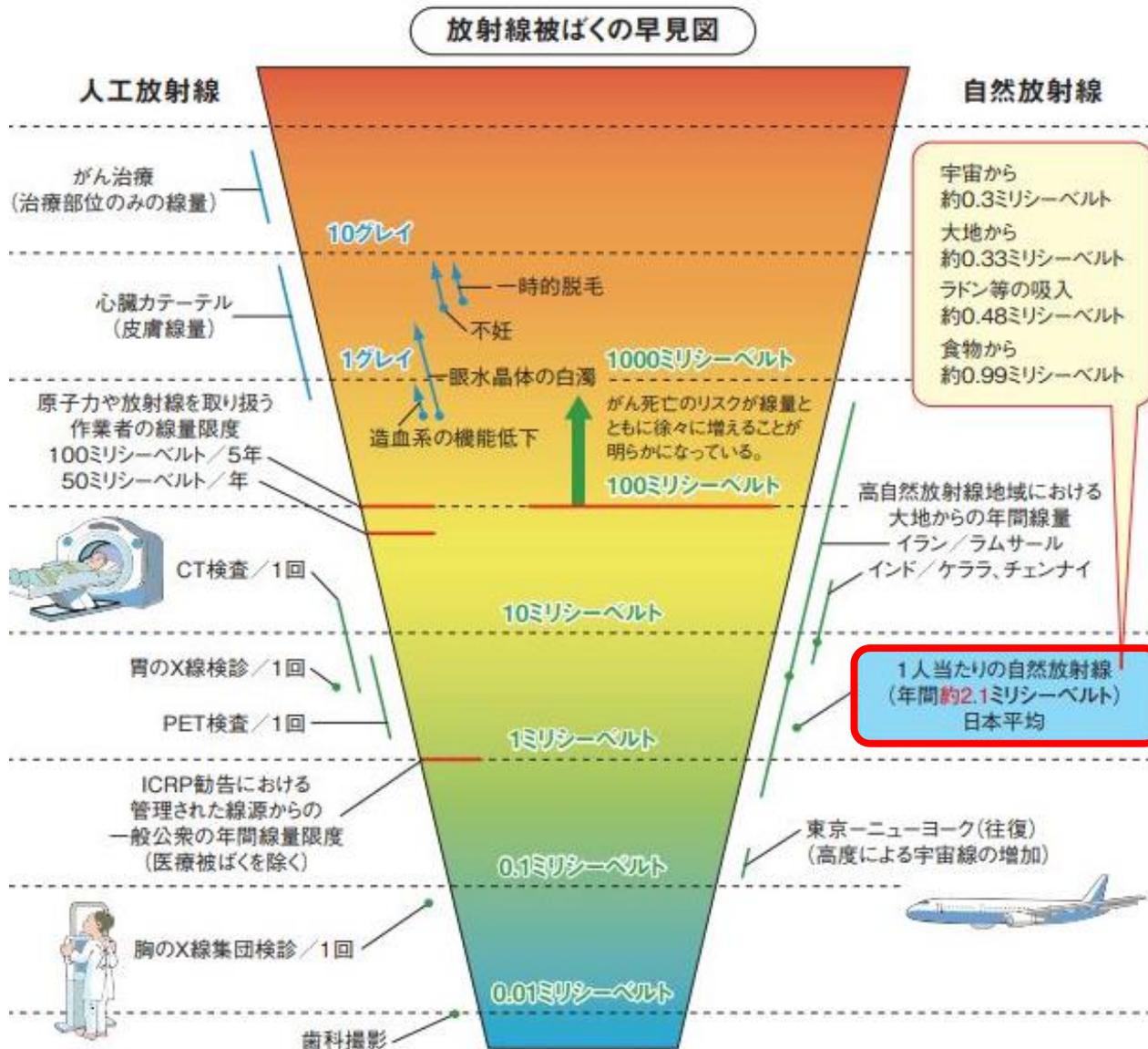


熱源・光源

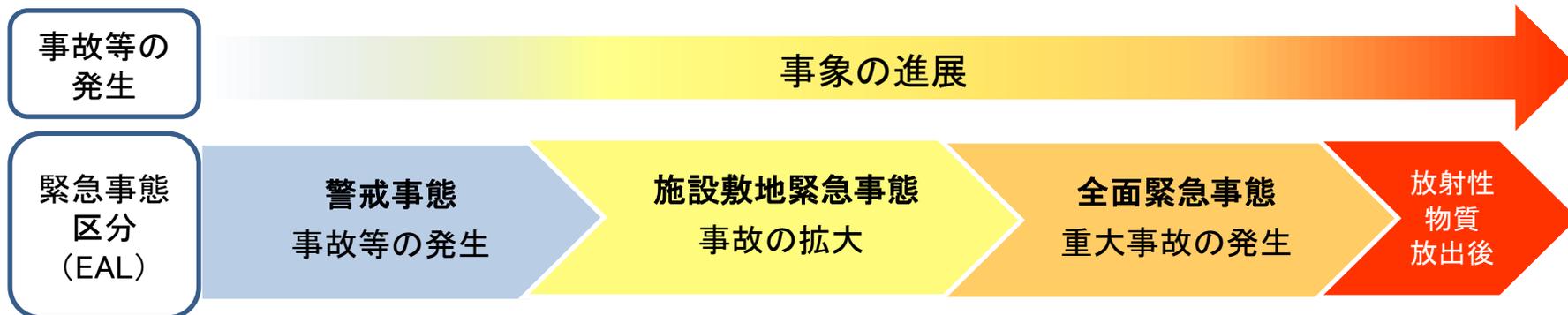
放射性物質

※放射能＝放射線を出す能力のこと

## 2. 放射線の基礎\_ 日常の放射線量



### 3. 防護措置\_\_判断基準(EAL)

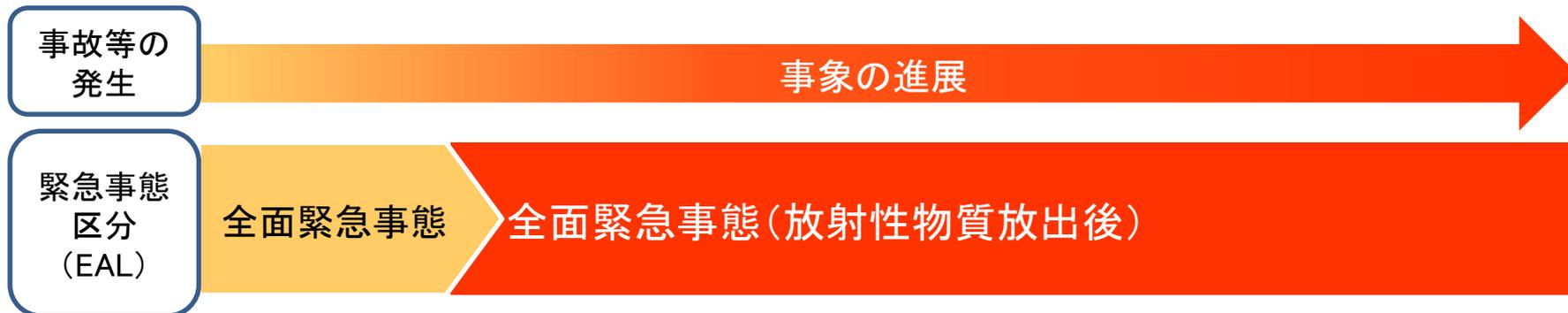


		警戒事態	施設敷地緊急事態	全面緊急事態	放射性物質放出後
防護措置	要配慮者	—	屋内退避準備 (屋内退避)	屋内退避 (避難準備)	OILに 基づく防護 措置を実施
	住民	児童・生徒 保護者引渡し	屋内退避準備	屋内退避	

◆放射性物質放出前は、原子力事業者の通報をもとにEAL(緊急時活動レベル)に応じた防護措置を実施 ※EAL(Emergency Action Level)



### 3. 防護措置\_\_判断基準(OIL)



判断基準	EAL	OIL2	OIL1
	防護措置	EALに基づく防護措置を実施	<p><b>20 <math>\mu</math> Sv/h</b></p> <p><b>早期防護措置</b></p> <p><b>1週間以内に一時移転</b></p>

◆放射性物質放出後は、緊急時モニタリングによる測定結果をもとにOIL(運用上の介入レベル)に応じた防護措置を実施 ※ OIL(Operational Intervention Level)

### 3. 防護措置\_\_避難(1)

## 避難及び一時移転

放射性物質の放出後、放出源から離れることにより、被ばくの低減を図るもの。緊急時モニタリングの結果により、市からの指示で避難を実施する。

## 避難手段

避難手段は**基本自家用車**とする。自家用車で避難できない場合は、一時集合所からバス等により避難を行う。

## 避難経路

国道や県道等の幹線道路を基本とする。



電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓などを閉めましょう。

#### 【確認すべき内容】

1. どの区域の人が対象か
2. どの避難所へ行くのか、または、いつどこへ集まって、どこへ避難するのか
3. 移手段は何か など



となり近所に声をかけ、助け合いながら避難しましょう。



窓やドアに忘れず鍵をかけて避難しましょう。



持ち物は最小限にし、貴重品・薬などは忘れないようにしましょう。



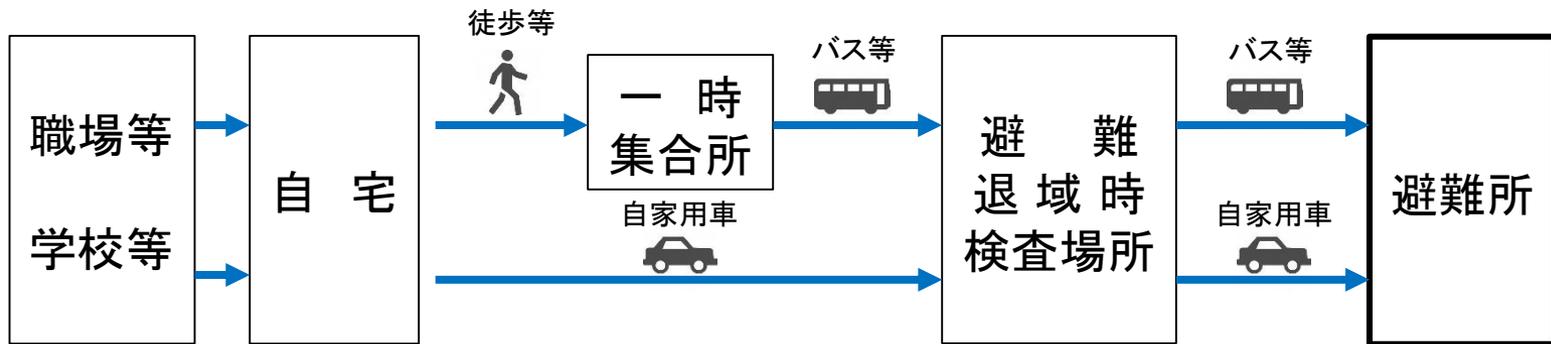
内部被ばくを防ぐためマスク、帽子、レインコートなどで、皮ふの露出を少なくしましょう。



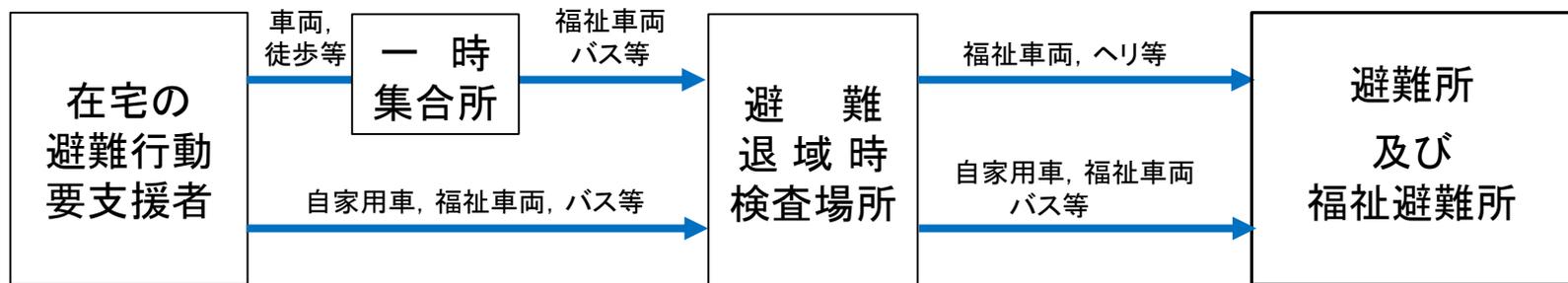
車で避難する場合、避難先やルート、避難退域時検査場所の情報をまず確認し、念のためマスクをして窓を閉め、エアコンは室内モードにしましょう。また日ごろからガソリンの点検も忘れずに。

### 3. 防護措置\_\_避難(2)

#### 一般的な避難



#### 避難行動要支援者の避難



※ 避難支援等関係者のサポートが必要

### 3. 防護措置\_\_避難先(1)

地区名	一時集合所	避難退域時検査場所	避難所
上 釜	旭東小学校	鉾田合同庁舎	鉾田第二高等学校
沢 尻			
荒 地			
三 和			鉾田第一高等学校
子 生			
子生第二※			
玉 田			
造谷第三			鉾田保健センター

※ 高速実験炉(常陽)及び材料試験炉(JMTR)においては、対象地区外とする。

### 3. 防護措置\_\_避難先(2)

地区名	一時集合所	避難退域時検査場所	避難所
箕輪東		県立鉾田第二高等学校 (旧県立鉾田農業高等学校)	鉾田北中学校 鉾田北小学校
箕輪西			
田崎			
下太田	旭北小学校	鉾田合同庁舎	鉾田南中学校 (体育館)
上太田			
和岡			(旧)諏訪小学校 中央公民館
大神			鉾田南中学校 (武道館)
下鹿田※	旭西小学校	県立鉾田第二高等学校 (旧県立鉾田農業高等学校)	鉾田南小学校
造谷第一※			大洋中学校
造谷第二			大洋公民館

※ 高速実験炉(常陽)においては、対象地区外とする。

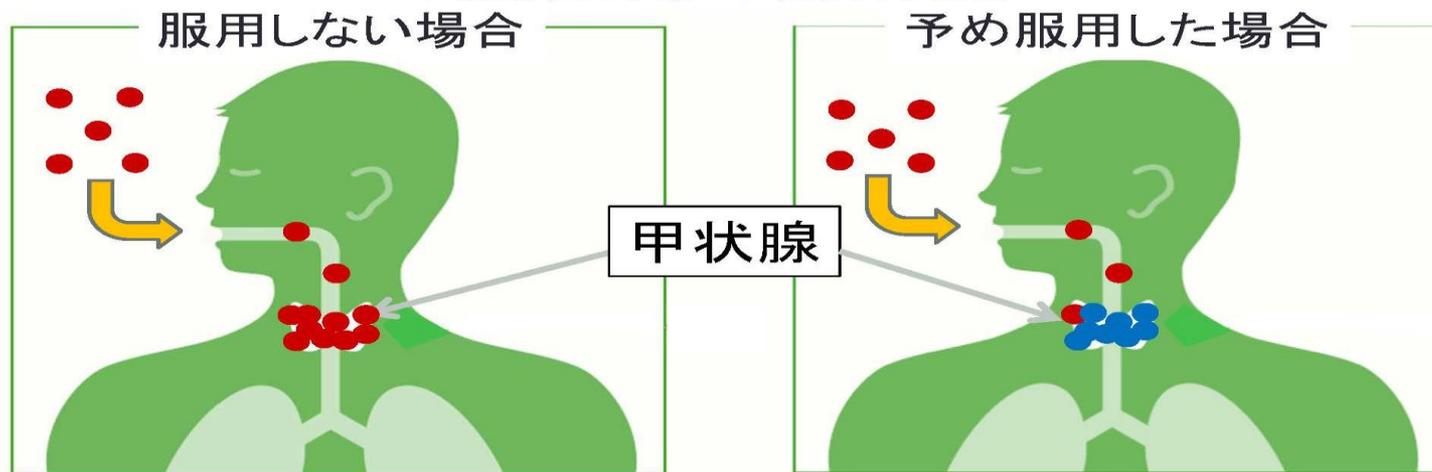
### 3. 防護措置\_\_安定ヨウ素剤(1)

## 安定ヨウ素剤とは

原子力施設の重大事故で放出される放射性ヨウ素が甲状腺に取り込まれるのを抑え、甲状腺の内部被ばくを予防、低減する効果のある医療用医薬品。ただし、放射性ヨウ素による影響にのみ効能があるもの。

## 安定ヨウ素剤の働きと効果

● 放射性ヨウ素 ● 安定ヨウ素剤



「放射性ヨウ素」が体内に取り込まれ、甲状腺に一定量以上蓄積すると、甲状腺がん発症の可能性が否定できなくなります。

あらかじめ甲状腺を「安定ヨウ素剤」で満たし、「放射性ヨウ素」の蓄積を減らすことができます。

### 3. 防護措置\_\_安定ヨウ素剤(2)

#### 配布場所

一時集合所  
(旭東小学校, 旭北小学校, 旭西小学校)

#### 配布タイミング

原則として、原子力規制委員会が安定ヨウ素剤の配布及び服用の必要性を判断し、その判断に基づき市が指示を出す。



#### 服用の時期と効果の関係

服用の時期	被ばく24時間前 ～被ばく後2時間	被ばく後8時間	被ばく後16時間以降
服用の効果	90%以上	約40%	ほとんどない

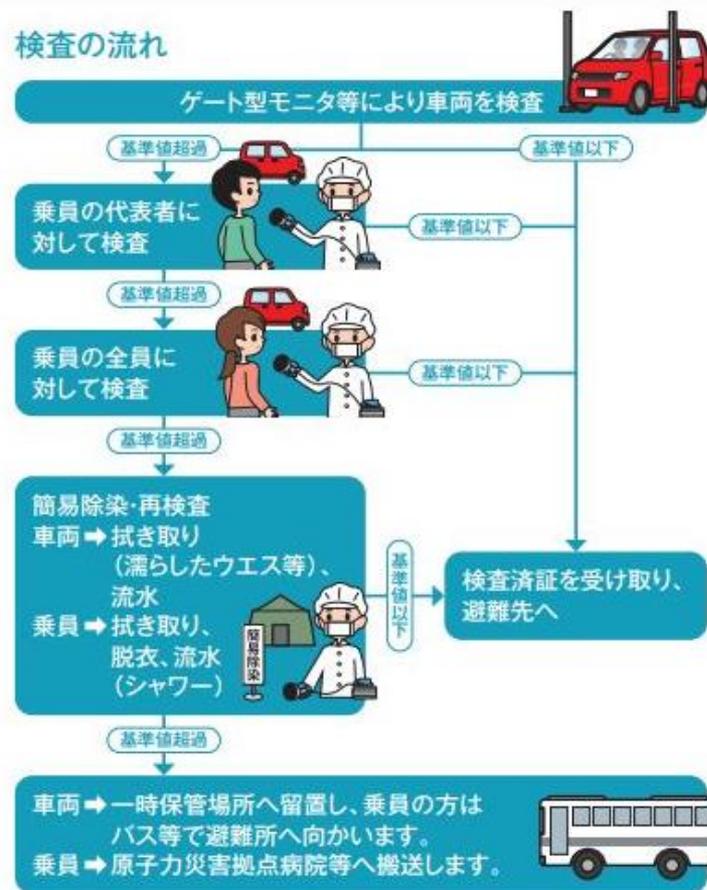
### 3. 防護措置\_\_避難退域時検査

#### 避難退域時検査とは

体の表面に放射性物質が付着していないかを確認するための検査。基準値以上の汚染があった場合は除染を行う

#### 検査の対象

「車両」「住民」「携行品」等



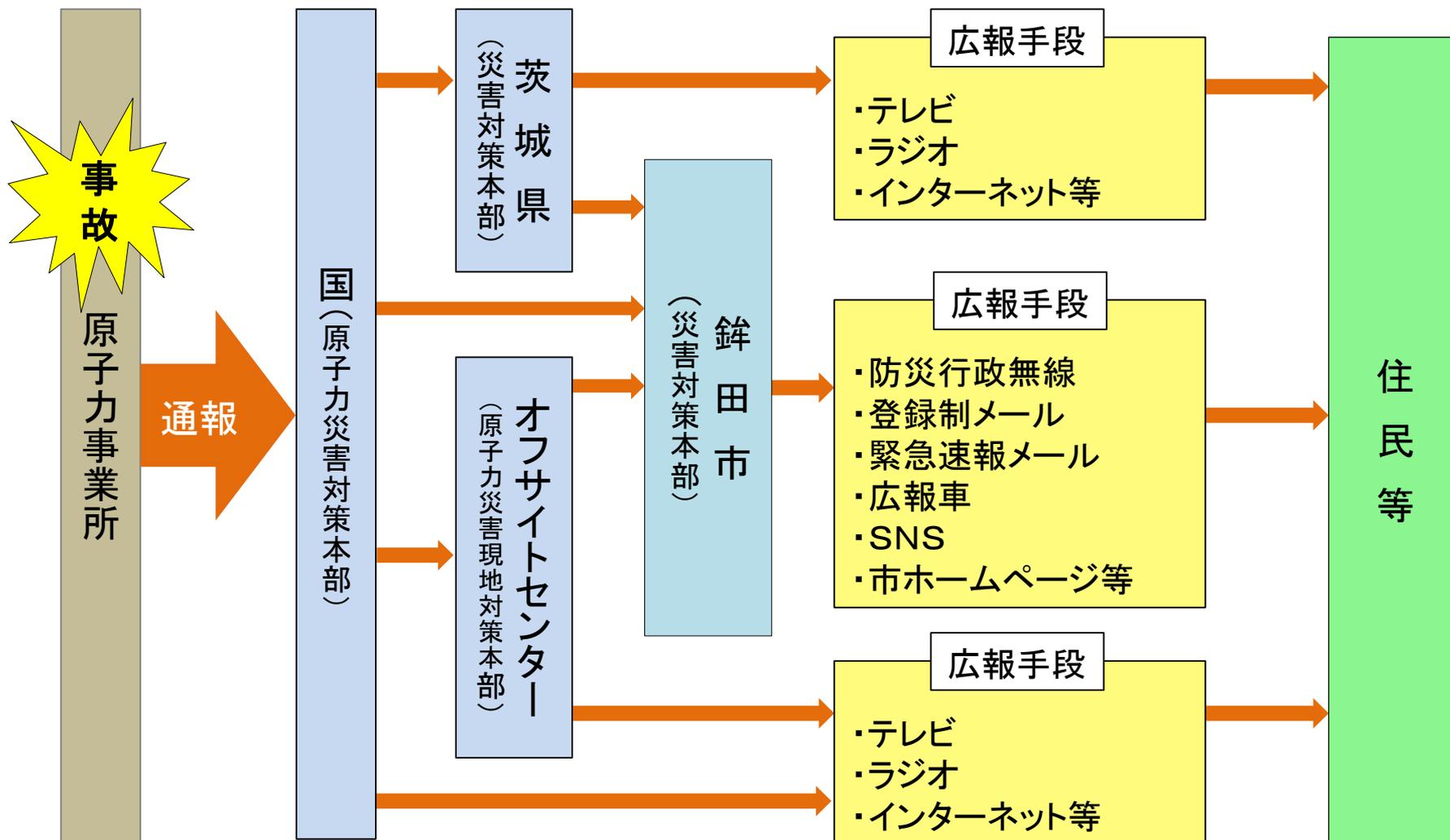
ゲート型モニターによる車両検査



住民検査

※避難退域時検査場所については、p.10,p.11をご確認ください。

## 4. 住民等への広報について



## 5. 避難所の運営

### 避難が長期化した場合の対応

国・県と連携し、応急仮設住宅などの提供や、避難者がホテルや旅館等へ移動できるように、協力体制を構築する。

### ペットとの同行避難

可能な限り避難所敷地内で飼育するスペースの確保に努める。  
避難所での飼育及び環境の保全是飼い主が責任をもって行い、必ずケージに入れて食料などの備蓄品を持参する。

### 感染流行下での対応

避難をするときは、必ずマスクの着用、手指の消毒などを行う。  
避難受付時に体温測定や体調確認を行い、体調不良者と混在しないよう対応する。

## 6. 複合災害

### 複合災害への対応

人命の安全を第一とし、自然災害による人命への直接的なリスクが極めて高い場合等には、自然災害に対する避難行動をとり、自然災害に対する安全が確保された後に、原子力災害に対する避難行動をとることを基本とする。

### 原子力災害の同時発災

本計画の対象施設と「銚田市原子力災害広域避難計画」の対象施設である日本原子力発電(株)東海第二発電所が同時発災した場合、「広域避難計画」で定める防護措置を講じることとする。

## 7. 計画について\_パブリックコメント

### 募集期間

---

令和3年7月6日(火) 午後5時まで

### 閲覧場所

---

市ホームページ, 鉾田市役所又は各支所

### 提出方法

---

書面, ファクシミリ又は電子メール

### 提出様式

---

市のホームページでダウンロード, 又は閲覧場所に備え付けの書類

## 7. 計画について\_\_まとめ

- ▶ 基本は屋内退避
- ▶ 国や県、市からの情報を確認
- ▶ 慌てずに行動
- ▶ 地域一体となって協力

原子力災害に限らず、災害対応については住民の皆様のご協力が不可欠です。日頃から防災意識を持っていただき、万一の際には、防護措置が的確に行えるよう皆様のご協力をお願いいたします。

## 8. 出典

### 原子力ハンドブック【茨城県原子力安全対策課】

茨城県のホームページより閲覧できますので、ご活用ください。

※旭市民センターにて配布しておりますが、数に限りがありますのでご注意ください。

